

暮らしの相談窓口

所得税における農業所得について： 知っておくべき基礎知識

農業経営における税務知識は、収益性の向上と密接に関連していて、基本的な理解を深めることが、賢明な経営戦略につながります。

アリアス税理士法人
代表社員
中野 謙治 税理士
Kenji Nakano



青色申告と白色申告の選択

農業所得は、事業所得の一種として扱われます。農業活動から得た収入から必要経費を差し引いた金額が所得となりますが、農業所得の計算には「青色申告」と「白色申告」という2つの方法があります。それぞれの特徴を理解し、自身の経営状況に合った選択をすることが重要です。

- **青色申告**：青色申告を選択すると、最大65万円の特別控除が受けられます。また、赤字が出た場合には、その損失を翌年以降に繰り越して所得を相殺することも可能です。ただし、正確な記帳と申告が求められます。
- **白色申告**：白色申告は手続きが簡易ですが、青色申告に比べて税務上のメリットは少なくなります。



	青色申告	白色申告
届出	「所得税の青色申告承認申請書」を管轄の税務署へ提出	なし
確定申告添付書類	「貸借対照表」「損益計算書」	「収支内訳書」
記帳方法	記帳方法により青色申告特別控除の額が異なります。 複式簿記での記帳 簡易簿記での記帳	簡易簿記での記帳
青色申告特別控除	最高65万円 最高10万円 所得金額から控除することができます。	控除なし
家族従業員の給与の必要経費算入	青色事業専従者給与として適正な金額であれば、支払った金額を必要経費として計上できる(事前に届出が必要) (注)事業規模でない不動産貸付業を営む方については、適用外となります。	配偶者は最高86万円、親族は1人最高50万円までを必要経費として差し引くことができる。
純損失(赤字)の繰越しと繰戻し	赤字が生じた場合、翌年以降3年間に生じた黒字と相殺することができます。 また、前年が黒字で青色申告をしている場合は、前年分の黒字と相殺し還付を受けることができます。	赤字の繰越し・繰戻しは、できない。
少額減価償却資産の特例	30万円未満の償却資産を経費として、一括で処理することができます。	特例適用なし
貸倒引当金	貸倒引当金の一部を必要経費として計上できる。ただし、認められているのは、青色申告個人事業主だけです。	なし

知らないと損する事項

農業経営における税務では、特定の投資や経費に対する税制優遇措置を活用することが可能です。これらの情報を常に最新の状態に保ち、有効活用しましょう。中でもおすすめは「**小規模企業共済**」への加入です。まだ入っていない方は加入を検討しましょう。



まとめ

農業経営者の皆さまにとって、税務知識は経営戦略の重要な部分です。適切な申告方法の選択や税制優遇措置の活用により、税負担を最適化し、事業の発展につなげましょう。
次回は不動産所得に焦点を当て、その税務上のポイントを解説します。皆さまが直面する税務上の課題を解決し、より良い経営を目指していただけるように、引き続き有益な情報を提供してまいります。



バックナンバー紹介
相続編は
こちらから



健康に過ごす

遠州病院 だより

暑熱順化について
ご存じですか？



JA静岡厚生連
遠州病院 健康管理センター
保健師
長屋 佑季さん

暑熱順化とは体が暑さに慣れることを言い、熱中症対策として注目されています。近年、熱中症は5月頃には発生し、梅雨明け7月～8月に多発する傾向にあるため、早めの対策が必要です。体が暑さに慣れていくと、汗の量が増えて熱を外に逃がしやすくなり、熱中症になりにくくなります。しかし、体が暑さに慣れていないと、急な気温上昇につま対応できず体に熱がこもり、熱中症になりやすくなってしまいます。暑熱順化には数日～2週間ほどかかるといわれているため、気温が高くなる前から軽く汗をかく習慣付けが大切です。

まずは運動をして軽く汗をかくことがおすすめです。たとえば、屋外の活動ではウォーキング1回30分や、ジョギング1回15分を週に5日程、サイクリングなら1回30分を週に3日程が目安です。屋内でのストレッチ・筋トレでは、1回30分を週5回程度、毎日を目安に行います。屋内では温度が暑くなり過ぎないように注意し、軽く汗をかくくらいがちょうど良いです。運動時は水分・ミネラル補給も忘れずに行いましょう。日常生活でも、階段の利用や通勤時に歩数を増やすなど、意識して体を動かしましょう。

そのほか、入浴でも適度に汗をかくため、シャワーのみで済ませず湯船にお湯を張って入浴することもおすすめです。湯温が高めの方は短めに、湯温が低めの方は少し長めに入浴時間をとると良いです。入浴後は水分と適度な塩分の補給を意識しましょう。
近年の急激な気温の変化についていくように、暑熱順化の効果を継続でき、熱中症になりにくい体づくりに取り組むことが重要です。無理のない範囲で意識的に汗をかく習慣を身に付けていきましょう。

参考文献：日本気象協会 熱中症をゼロに
<https://www.netsuzer.jp/>

栄養と料理 2023年8月号

※組合員には「組合員割引制度」があります。
詳しくは遠州病院(代表453-1111)まで